

七一九

長官

副官

審判長

審判官

審判官

審判官

為東亞人等千九百十七年... 陸軍大臣... 復出第百三十四号

瀧野海軍少佐電刑之...

海軍少佐瀧野... 吉元... 漢... 如自... 速此... 速此...

二百三十二

1050

明治十一年七月十七日

海軍卿川村純義

太政大臣三傳實義殿

海軍卿

1051

丁雲第 五十六号

（庚）七ノ八（富士國）

舊雲揚号船長_ニ四討文宣告義

御届

丁雲第三拾壹号ヲ以テ相同候舊雲

揚号破壊事件ニ付該船長海軍少佐庵

野直俊_ト傷断之義御裁可_ニ因_テ別紙

四討文之通本日宣告候條此段御届仕

候也

明治十一年七月三日

臨時裁判行審判官

海軍少将伊東祐磨



海軍御川村純義殿

復入第千九十七号

二百二十三

第百五十三

1053

四計文

海軍少佐滝野直俊

舊雲揚号艦長在職中明治九年十月
 三十日該艦神戶向航際羽立三十一日夜紀
 州阿田知浦海濱ニ接近ニ終ニ破壊ニ臻ル
 其實况風而猛烈止ムヲ得サル者アリト雖
 凡畢竟暴風怒濤ノ時ニ在テ尤舷後舦
 ニ風ヲ受ケテ前帆ヲ張リ桁ヲ右舷ニ旋回スル
 僅ナリト雖モ風壓ヲ豫算セズ加之推測
 可確信シテ方位ヲ紀州大島ニ直指ニ航路ヲ
 錯誤スル科軍律第百八十七條ニ准擬シ
 情法ヲ酌量シ閉門三十五日被仰付

海軍省

1055